

# 五輪は中止しコロナ収束に全力を

## 女性蔑視発言・森会長は辞任せよ

東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」などと発言したことに大きな批判、辞任を求める声が広がっています。日本共産党の志位和夫委員長は「釈明の余地のない、恥ずかしい、愚かな女性蔑視発言だ」と厳しく批判し、「発言を撤回したう

えで辞任すべき」と主張しました。(4日)  
森氏は2日、自民党本部で開かれた会合で、「(五輪は)新型コロナウイルスがどういう形だろうと必ずやる」と述べました。志位氏は「アスリート、国民の命より『開催先にありき』のとんでもない発言だ」とし、「これも含めて撤回したうえで辞任を」と求めました。

「開催ありき」で  
暴言も

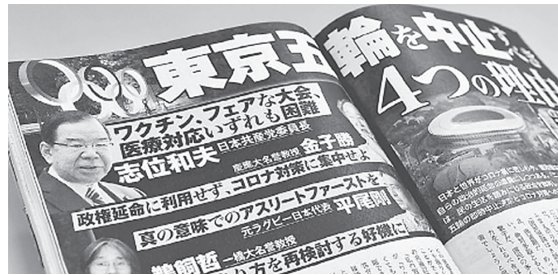
強行すればコロナが  
五輪発で広がる最悪の展開も

『サンデー毎日』志位委員長が主張

2月14日号の『サンデー毎日』の「倉重篤郎のニュース最前線」が「東京五輪を中止すべき4つの理由」と題して、志位委員長らのインタビューを掲載しています。

ゼロベースで是非再検討を

倉重氏は志位氏を「『夏の五輪は中止すべきだ』といち早く主張、永田町のタブーモードを打ち破った」と紹介。志位氏はワクチン格差などフェア性が保障されないことや五輪での医療体制確



志位委員長インタビューを掲載している『サンデー毎日』2月14日号

保に現実性がないことなどを指摘。菅首相との論戦を踏まえ、「いよいよ中止するしかない。少なくとも『開催ありき』でなく、ゼロベースから開催の是非も含めて再検討する、内外の声を聞いて真剣な検討に入るべきだ」と主張しました。

開催を強行し、コロナが五輪発で内外に広がる最悪の展開になると被害は計り知れません。人類の健康、平和の増進という五輪の意義、信頼を根底から傷つけることとなります。

日本共産党

## 首相の責任で 調査・説明を

長男の官僚接待

菅首相の長男が総務省の官僚を違法接待したと週刊誌が報じました。志位委員長は「事実関係について首相が責任をもって調査・説明を」「放送法行政がゆがめられなかったのかも含め説明を」と述べました。(4日)

## 自民と菅首相 責任は重大

案里被告議員辞職

大規模買収で有罪判決を受けた参院議員の河井案里被告(自民離党)が議員辞職しました。自民党は1億5000万円もの選挙資金を河井陣営に投入、参院選で何度も河井氏の応援に入った菅首相、安倍前首相の責任は重大です。